

2005年度 日本液晶学会 第1回理事会議事録

日時：2005年1月29日（土）午後1時00分～5時30分

会場：東京工業大学イノベーションセンター 802号室（田町）

出席：竹添秀男，赤木和夫，小野浩司，鳥海弥和，木村直史，清水 洋，高橋泰樹，竹内清文，伊達宗和，内藤裕義，中山敬三，袋 裕善，藤掛英夫，松川秀樹，松下哲也，森 裕行，山本 潤

欠席：川月喜弘，平岡一幸，佐藤 進（監事），松嶋欽爾（監事）

オブザーバー出席：中村尚武（2005年度討論会実行委員長），沼田（事務局）

議案

1) 承認事項

1-1 会員入退会の承認

- ・2004年度12～2005年度1月の入退会者数が会員委員会より報告され，承認された。

2) 報告事項

2-1 総務委員会（資料05-01-1）

(メール審議)

- ・第4回理事会より2005年第1回理事会までに第21～25回のメール審議が行われ、いずれも承認されていることが報告された。
- ・第21回 (ORGATECHNO 2005協賛) , 第22回 (2004年度総会議事録案) , 第23回 (2004年第4回理事会議事録案) , 第24回メール審議 (事務局を神戸から東京へ移行する件) , 第25回 (PAC社との業務委託契約に関する覚書案)

(学会賞・役員選考委員会)

- ・役員選考委員会と表彰委員会の設置に伴い、前例に則り前者の委員長には鳥海副会長、後者の委員長には赤木副会長が選任された。スケジュールは事務局と相談の上で調整することとした。
- ・学会賞に関しては、2004年度の選考委員長を務めた竹添会長から、1. 公募をしてもまず応募はない、2. 候補者の分野と所属に偏りがある等の問題が提示された。推薦の様式を改訂 (推薦に必要な推薦文の規定などを簡略化する等) するなどして推薦者が推薦しやすくなる環境を作ることにした。具体的には4月理事会までに竹添会長、赤木表彰委員会委員長が推薦基準のたき台を作ることにした。

(役員数改定)

- ・清水総務委員長より現行の21名を13名に減らすことを前提とした役員数改定の試案が提出された。今後、将来構想の検討とともに検討することとなった。審議事項3?2参照。

(事務センター破綻による事務局業務移行の経緯、事務センター問題の対応)

- ・鳥海副会長より、前業務委託先の日本学会事務センター破綻前から現在に至る学会の対応、損金等について説明された。
- ・事務局問題：2004年当初から事務センター財政問題を考慮し、破綻直前の同年7月より具体的に事務局移転を念頭において各社と折衝を行ってきた。幹事会、理事会の承認を受けて、8月にプロアクティブ・コンベンション株式会社内に後継事務局を設置することに決した。
- ・損金：液晶学会は当初より事務センターの財政悪化を察知し資金移動など行っていたこともあり、問題となった事務センターの「預かり金」口座には多額を残さぬようにした。結果、最終的な損金は39万円ほどで大きな被害はなかったと言える。

2-2 財務委員会（資料05-01-2）

（資産管理）

- ・学会の資産管理に透明性を持たせる必要があり，新たな管理体制（案）が提示された。
- ・定期預金以外の学会資産は，以下のようになり，報告の上，承認された。

1. 会費納入メイン口座：UFJ銀行ロックアカウント口座（UFJ銀行管理）
2. 会費送金指定口座：みずほ銀行秦野支店（財務理事管理）
3. 雑収入および支払い口座：みずほ銀行赤坂見附支店（事務局管理）

2-3 行事委員会

（サマースクール）

- ・高橋行事担当理事より，今年度のサマースクール開催予定と概要が報告された。

2005年7月14日（木）～16日（土），熱海大月ホテル

- ・参加費徴収のための口座開設など，詳細は事務局と相談しながら進めることとした。

2-4 編集委員会（資料05-01-3）

- ・小野編集担当理事より，今年度の発行予定，編集委員会開催予定が報告された。
- ・特集号的特色を『液晶』にも持たせるべく，具体的な企画の検討を始めている。

2-5 2005年液晶討論会実行委員会（資料05-01-4）

- ・中村実行委員長より，開催概要，会場設備等について報告された。
- ・2005年度も基本的には名古屋大会と同じ方式をとる（J-STAGE利用）。参加費登録および宿泊予約はWeb上で行うかどうかについてはPAC社からシステム利用の提案もあり，従来方式をとるかどうかは検討中である。
- ・今年度から予稿集CD-ROMの製作を検討しているが，CD-ROMのみで済ませるのでなく，従来どおり冊子版も作ることを，さらにCD-ROMの事前発送はせずに当日配布とすることを前提とする。CD-ROM製作は担当可能な業者から見積をとることとした。

- ・協賛依頼先には従来の学協会に有機合成化学協会，油化学会，生化学関連学会も追加し，依頼は事務局が行うこととなった。

2-6 情報委員会（資料05-01-5）

- ・伊達情報担当理事より，今年度の情報委員会活動予定が報告された。
- ・今年度の情報委員会の重点項目は「会員への連絡体制の再整備」，「情報資産の系統的な電子的蓄積および検索性の向上」を挙げた。
- ・情報委員会より今年度情報委員（案）が提示され，理事会の承認，推薦を受けた。委嘱状は事務局から発送することとした。

2-7 会員委員会（資料05-01-6）

- ・袋会員担当理事より，今年度の会員委員会活動予定が報告された。
- ・学生会員・機関会員増加のためのリストと依頼書を作成し，事務局に発送手配を依頼した。

2-8 研究委員会（資料05-01-7）

- ・藤掛研究会担当理事より，今年度の研究委員会活動予定が報告された。
- ・各フォーラムを毎年予算をつけて開催しているが，学会創設以来8年間でフォーラム開催は義務的に，さらに内容もバランスが悪くなっており，それに伴って参加者も伸びない傾向にあると思われる。今後は現在の5フォーラムに限らず，時代にマッチした分野のフォーラムを少しずつ増やす，そして古くなったものは外すなどといった対応で活性化を図りたい，との藤掛理事からの提案に対し，竹添会長から「1200名程度の会員数でフォーラムをいくつも持っていて参加者が少ないのは当然と言えば当然のことであるので，この際，フォーラムを1つにまとめることも考えてはどうか」、清水総務担当からは「現在各フォーラムには担当理事を置いているので，このまま増やすと理事数も増えることになる。その辺も含めてフォーラム活性化のための包括的対応策の議論も必要」との意見が出された。フォーラム数に関しては継続審議事項とする
- ・藤掛理事より新設フォーラムとして，「分子エレクトロニクス研究フォーラム」の立ち上げと生体関連・リオトロピック液晶研究フォーラムを「ソフトマター（液晶）研究フォーラム」への名称変更が提

示され、承認された。「既存のフォーラムとの済み分け、調整についても必要ではないかとの意見」もあった。

・2004年度は開催されていないフォーラムがあった。今後は1年間何も活動をしなかったフォーラムに対しては理事会から指導をすることとした。

3) 審議事項

3-1 総務委員会（事務センター破綻後の対応）

・法的手段による弁済処置を求める（旧役員等への責任追及）ことを目的とする日本学会事務センター破産被害学会連絡協議会が発足され、液晶学会もその連絡会議メンバーに入り、協議会からの定期的な連絡（情報）を受けている。さらに、2005年度に入ってそれとは別に「和解交渉委員会」が発足した。液晶学会としては、この和解協議会に加わることで事務センター問題をおさめることとした。

3-1 会員委員会（会員資格）

・会費未納者の会員資格について規則に明文化されていないため、整備する必要がある。

・未納1年間は資格保有（会誌1号のみ発送，2号以降停止），未納2年目は完全会員資格停止等，退会者が復活した場合のペナルティ等について会員委員会より案が出されたが，結論は出ず，継続審議事項となった。

3-3 「将来構想委員会（仮称）」設置の提案

・鳥海副会長から、会員数の現状など現在の状況を憂慮、今後液晶学会の将来について議論、改革の方向性を示すべく委員会の設置案が出された。会長、総務担当などから特別な委員会を作らなくとも改革への提言は全て理事会で審議、決定される現状を考えれば、理事メンバーは個々の自由意志として学会の将来について独自に改革案が提案できることから特別に委員会を設置せずとも十分に提案の主旨に乗っ取った活動は可能との意見でしばらく見送ることとなった。

4) その他

- ・今年度より理事会配布資料はサーバー上でデータ保存することとした。
- ・次回理事会：2004年4月16日（土）13:00～17:00，東工大イノベーションセンター

配布資料

- 資料2005-01-01：2005年度第1回日本液晶学会理事会資料（総務委員会）
- 資料2005-01-02：2005年度第1回日本液晶学会理事会資料（財務委員会）
- 資料2005-01-03：2005年度第1回日本液晶学会理事会資料（編集委員会）
- 資料2005-01-04：2005年度第1回日本液晶学会理事会資料（2005年度日本液晶学会討論会実行委員会）
- 資料2005-01-05：2005年度第1回日本液晶学会理事会資料（情報委員会）
- 資料2005-01-06：2005年度第1回日本液晶学会理事会資料（会員委員会）
- 資料2005-01-07：2005年度第1回日本液晶学会理事会資料（研究委員会）

日本液晶学会理事会アクションリスト

- 2003-1-09：行事開催地公募制再検討（SS運営委員会，討論会運営委員会）
- 2003-1-12：営利団体主催展示会協賛見直し（総務，財務，会員，会長，副会長）
- 2003-4-01：講演会・討論会の開催方法の検討（総務，財務）
- 2004-1-05：幽霊会員の防止対策・会費徴収方法・学生会員の管理・登録フォーマットの整備（会員委員会）
- 2004-2-02：出版事業に関するプロジェクトチーム編成，および調査（会長，副会長，総務，編集委員会）
- 2005-1-01：将来計画委員会の設置（副会長，関係理事）
- 2005-1-02：学会賞推薦基準の見直し（会長，表彰委員会委員長）
- 2005-1-03：役員数の見直し（会長，副会長，総務委員会）
- 2005-1-04：新フォーラムの立ち上げ（会長，副会長，研究委員会）

2005-1-05：会員資格の内規制定（会長，副会長，会員委員会）

以上